

平成26年3月期第3四半期連結決算(米国基準)ハイライト

(単位:億円)

経営成績	当第3四半期連結累計期間			前年同期	増減額	
	上半期	第3四半期	3Q累計		比率(%)	
収益	28,723	14,606	43,329	35,765	7,564	21.2
売上総利益	4,300	2,085	6,385	5,743	642	11.2
その他の収益・費用						
販売費・一般管理費	△ 2,786	△ 1,448	△ 4,234	△ 3,820	△ 414	
貸倒引当金繰入額	△ 54	△ 6	△ 60	△ 94	34	
利息収支	△ 72	△ 24	△ 96	14	△ 110	
受取配当金	645	356	1,001	620	381	
有価証券売却損益	170	182	352	366	△ 14	
有価証券評価損	△ 106	△ 62	△ 168	△ 213	45	
固定資産処分損益	18	67	85	19	66	
固定資産評価損	△ 4	△ 55	△ 59	△ 18	△ 41	
雑損益	△ 87	47	△ 40	△ 154	114	
その他の収益・費用合計	△ 2,276	△ 943	△ 3,219	△ 3,280	61	
法人所得税及び持分法損益前利益	2,024	1,142	3,166	2,463	703	28.5
法人所得税	△ 893	△ 319	△ 1,212	△ 1,116	△ 96	
持分法損益前利益	1,131	823	1,954	1,347	607	45.1
持分法損益	933	280	1,213	1,356	△ 143	
非支配持分控除前四半期純利益	2,064	1,103	3,167	2,703	464	17.2
非支配持分帰属四半期純利益	△ 92	△ 56	△ 148	△ 164	16	
四半期純利益(三井物産株に帰属)	1,972	1,047	3,019	2,539	480	18.9
包括損益(三井物産株に帰属)	2,099	2,598	4,697	3,336	1,361	40.8
営業利益(日本の会計慣行に基づく)	1,460	631	2,091	1,829	262	14.4

主な増減要因
【収益】 エネルギー:石油トレーディング数量増及び円安 化学品:石油化学品原料トレーディング回復 金属資源:円安及び鉄鉱石数量増
【売上総利益】 金属資源:円安及び鉄鉱石数量増 鉄鋼製品:鋼管取引堅調、円安 化学品:石油化学品原料トレーディング回復
【販売費・一般管理費】 円安による負担増
【貸倒引当金繰入額】 小口の集積 (前年同期 小口の集積)
【利息収支】 前年同期Codelco繰延融資手数料の反動減
【受取配当金】 LNGプロジェクトからの配当金増加
【有価証券売却損益】 QIWI、ダイセル、三国コカ交換差益 (前年同期 三国コカ、IHHみなし売却益)
【有価証券評価損】 Valepar優先株、LNGプロジェクト宛投資 (前年同期 鉄鋼関連上場株、三井化学)
【固定資産処分損益】 油田権益の売却益 (前年同期 小口の集積)
【固定資産評価損】 未開発石炭鉱区 (前年同期 小口の集積)
【雑損益】 探鉱費用、為替利益 (前年同期 探鉱費用、為替損失)
【持分法損益】 減少・Valepar Vale税務関連損失 ・MLCC(カセロネス) 投資評価損 増加・RRMC 円安効果 ・IPP事業 商業運転開始に伴う新規貢献

オペレーティング・セグメント情報(※)	<売上総利益>			<四半期純利益(損失)(三井物産株に帰属)>			
	当3Q累計	前年同期	増減	当3Q累計	前年同期	増減	主な増減要因
鉄鋼製品	399	282	117	126	△ 79	205	・鋼管取引堅調、円安効果 ・前年同期 鉄鋼関連上場株評価損
金属資源	1,477	1,219	258	525	806	△ 281	・Vale税務関連損失、MLCC投資評価損 ・鉄鉱石事業堅調
機械・インフラ	835	726	109	183	110	73	・IPP事業 商業運転開始に伴う新規貢献 ・GEエンジン開発研究開発費負担
化学品	585	475	110	106	△ 29	135	・石油化学品原料トレーディング回復 ・前年同期 三井化学株式評価損
エネルギー	1,418	1,317	101	1,522	1,169	353	・LNGプロジェクト 受取配当金、持分法利益増加 ・油田権益の売却益
生活産業	865	856	9	135	171	△ 36	・Arch 固定資産減損 ・前年同期 三国コカほか有価証券売却益
次世代・機能推進	95	269	△ 174	21	94	△ 73	・TPV Technology テレビ事業不調 ・MCRM 商品デリバティブ取引不調
米州	565	515	50	94	134	△ 40	・Novus メチオニン価格下落 ・前年同期 MED3000 Group株式売却益
欧州・中東・アフリカ	172	108	64	52	△ 8	60	・Mitsui Real Estate Europe 不動産売却益
アジア・大洋州	94	74	20	263	228	35	・豪州鉄鉱石生産事業の持分業績増
合計	6,505	5,841	664	3,027	2,596	431	
その他及び調整・消去	△ 120	△ 98	△ 22	△ 8	△ 57	49	
連結合計	6,385	5,743	642	3,019	2,539	480	

※ 当第3四半期連結累計期間より、従来次世代・機能推進セグメントに含まれていた物流インフラ事業を機械・インフラセグメントに、先端材料事業を化学品セグメントに、メディア事業を生活産業セグメントに、それぞれ移管しました。また、従来金属資源セグメントに含まれていた三井物産メタルズの鉄スクラップ等関連事業を鉄鋼製品セグメントの三井物産スチールに移管したほか、電力会社向けの一般炭物流を除く石炭関連事業をエネルギーセグメントから金属資源セグメントに移管しました。これらの変更に伴い、前年同期のオペレーティング・セグメント情報を修正再表示しています。

財政状態	平成25年 12月末	平成25年 3月末	増減	【総資産】 円安による影響に加え、新規及び拡張投資により投資・有形固定資産が増加。
総資産	112,166	103,246	8,920	
株主資本	35,594	31,818	3,776	【株主資本】 利益剰余金の積上げのほか、円安に伴う外貨換算調整勘定の改善、未実現有価証券保有損益の増加により増加。
有利子負債(現預金等控除後)	31,246	28,394	2,852	
ネットDER(倍)	0.88	0.89	△ 0.01	

キャッシュ・フロー	当3Q累計	前年同期
営業活動	4,117	3,637
投資活動	△ 5,663	△ 6,400
(フリーキャッシュ・フロー)	△ 1,546	△ 2,763
財務活動	671	1,801
換算差額等	173	266
現金・現金同等物の増減額	△ 702	△ 696

<参考>	当3Q累計	前年同期
【主要指標推移】		
為替 (円/米ドル:期中平均)	99.80	80.24
為替 (円/豪ドル:期中平均)	93.06	82.54
金利 (円TIBOR3M平均)	0.23%	0.33%
金利 (米ドルLIBOR3M平均)	0.26%	0.39%
当社連結油価 (米ドル/bbl)	\$110/bbl	\$115/bbl
為替 (円/米ドル:期末レート)	105.39	94.05
日経平均 (期末終値)	16,291.31	12,397.91

平成26年3月
連結業績予想

当社は第2四半期連結決算公表時に見直した年間の当期純利益(三井物産(株)に帰属)予想3,700億円を据え置くことと致しました。LNG事業からの配当が増加しているエネルギーセグメントや、IPP事業及び自動車関連事業が好調な機械・インフラセグメントが想定より高い進捗となっているほか、複数のセグメントで資産リサイクルによる売却益の増加が見込まれる一方で、Valeに係る税務関連損失の影響を受けた金属資源セグメントが弱含んでおり、これらを含む各セグメントの状況を総合的に勘案した結果、3,700億円の年間業績予想を据え置いたものです。